

九州がんセンター

看護師特定行為研修 募集要項 2025



一般募集用

目次

特定行為研修の概要

| | |
|-----------------|---|
| 1. 国立病院機構の理念 | 1 |
| 2. 九州がんセンターの理念 | 1 |
| 3. 特定行為研修の理念 | 1 |
| 4. 特定行為研修の趣旨 | 1 |
| 5. 特定行為研修の目的・目標 | 1 |
| 6. 募集区分と定員 | 2 |
| 7. 研修内容 | 2 |
| 8. 研修方法と場所 | 2 |
| 9. 研修日程 | 3 |
| 10. 研修の修了 | 3 |
| 11. 受講料 | 3 |
| 12. 必要経費 | 3 |
| 13. 履修免除 | 3 |

応募要領

| | |
|--------------------------|---|
| 1. 出願資格 | 4 |
| 2. 募集区分と定員 | 4 |
| 3. 出願期間 | 4 |
| 4. 出願手続き | 4 |
| 5. 選考方法 | 6 |
| 6. 試験日 | 6 |
| 7. 試験科目 | 6 |
| 8. 試験会場及び時間割等 | 6 |
| 9. 合格発表・受講手続 | 6 |
| 10. その他 | 6 |
| 11. 試験に関する書類の送付先及び問い合わせ先 | 7 |

特定行為研修の概要

1. 国立病院機構の理念

私たち国立病院機構は、国民一人ひとりの健康と我が国の医療の向上のため、たゆまぬ意識改革を行い、健全な経営のもとに患者さんの目線に立って懇切丁寧に医療を提供し、質の高い臨床研究、教育研修の推進につとめます。

2. 九州がんセンターの理念

私たちは「病む人の気持ちを」そして「家族の気持ちを」尊重し、温かく、思いやりのある最良のがん医療をめざします。

3. 特定行為研修の理念

国立病院機構看護師特定行為研修は、チーム医療の要である看護師が、医療機関や在宅において患者や利用者の状態・状況を自律的に判断し、特定行為の実施も含めた適切な医療を提供することにより、これからの時代に望まれる医療に向けて役割が果たせることを目指します。なかでも、特定行為の実施にあたっては、研修後も自己研鑽を重ね、より安全で質の高い看護の提供を探求する姿勢を養うことを重視します。また、本研修は地域医療構想の実現、地域包括ケアシステムの構築に貢献できる看護師の育成を、地域の医療機関とともに連携・協働して行っていくものとし、地域における医療人の育成に貢献していきます。

4. 特定行為研修の趣旨

九州がんセンター看護師特定行為研修では、一般的な術後ケアから終末期や医療依存度の高い在宅療養の場面において普遍的に活用でき、かつ当センターの実習環境に適合した5区分6行為の特定行為を履修科目としています。共通科目では専門的知識と医療倫理に基づいた自律的な判断ができる能力を養い、区別科目では特定行為をおこなうための知識と技術を習得します。

研修を通して看護師としての自己の役割や課題を考察し、広い視野をもって地域全体の医療・看護の質向上に貢献できる看護師の育成を目指します。

5. 特定行為研修の目的・目標

<研修目的>

医師の包括的な指示のもと、診療の補助（特定行為）が安全かつ医療倫理に基づき実施できる基礎的能力を養う。

<研修目標>

- 1) 多様な臨床場面において、対象の病態とその変化を迅速かつ包括的にアセスメントできる。
- 2) 多様な臨床場面において、必要な治療を理解した上で対象の状態に応じた対処を導くことができる。
- 3) 多様な臨床場面において、患者の安心に配慮しつつ、必要な特定行為を安全に実践できる。
- 4) 対象の問題解決に向けて、多職種専門性を尊重し、効果的に協働することができる。
- 5) 自らの看護実践を検証し、判断力・技術力の向上及び標準化するための能力を身につける。

6. 募集区分と定員

1) 九州がんセンター外科系5区分基本パッケージ（下記の5つの区分の全ての履修を必須とする）

| 特定行為区分 | 定員 |
|-------------------|------|
| 腹腔ドレーン管理関連 | 5名まで |
| 創部ドレーン管理関連 | |
| 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 | |
| 感染に係る薬剤投与関連 | |
| 術後疼痛管理関連 | |

7. 研修内容

1) 共通科目：特定行為区分に共通して必要とされる能力を身につけるための科目

| 科目名 | 時間数 |
|--------------|--------------|
| 臨床病態生理学 | 31時間 |
| 臨床推論 | 45時間 |
| フィジカルアセスメント | 45時間 |
| 臨床薬理学 | 45時間 |
| 疾病・臨床病態概論 | 41時間 |
| 医療安全学/特定行為実践 | 45時間 |
| 合計 | 252時間 |

2) 区分別科目：各特定行為に必要とされる能力を身につけるための科目

| 特定行為区分 | 特定行為 | 時間数+症例数 |
|-------------------|---------------------------|------------------|
| 腹腔ドレーン管理関連 | 腹腔ドレーンの抜去 | 8時間+5症例 |
| 創部ドレーン管理関連 | 創部ドレーンの抜去 | 6時間+5症例 |
| 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 | 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 | 16時間+各5症例 |
| | 脱水症状に対する輸液による補正 | |
| 感染に係る薬剤投与関連 | 感染徴候のある者に対する薬剤の臨時投与 | 29時間+5症例 |
| 術後疼痛管理関連 | 硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整 | 8時間+5症例 |
| 合計 | | 67時間+30症例 |

8. 研修方法と場所

- 1) 共通及び区分別科目は、学研のeラーニングに基づいた講義・演習・実習を行います。
- 2) 講義、演習は九州がんセンター内の教育研修センターで、臨地実習は九州がんセンターの病棟・HCU等で行います。

9. 研修日程

＜研修期間＞

2025年6月2日～2026年3月31日

＜研修日程＞

| | |
|-----------|------------------|
| 2025年6月2日 | 開講式・ガイダンス |
| 2025年6月3日 | 共通科目受講開始 |
| 2025年8月中旬 | 共通科目修了 区分別科目受講開始 |
| 2025年9月上旬 | 臨地実習開始 |
| 2026年2月下旬 | 臨地実習修了 区分別科目修了 |
| 2026年3月 | 修了式 |



10. 研修の修了

共通科目を履修し、修了試験及び演習・実習の観察評価に合格した後、区分別科目を履修し、修了試験に合格して臨地実習を行います。臨地実習において症例数を満たし観察評価に合格したことが特定行為研修管理委員会で承認され、修了認定となります。特定行為研修終了後、修了証を交付し、研修修了者の名簿を厚生労働省に提出します。

11. 受講料

| 所 属 | 受講料 |
|-------------------------|-------------------------------|
| 独立行政法人国立病院機構の病院に所属する者 | 445,000 円（内共通科目受講料：280,000 円） |
| 独立行政法人国立病院機構以外の施設に所属する者 | 556,250 円（内共通科目受講料：350,000 円） |

*当院の特定行為研修は「特定一般教育訓練」の指定講座となっています。制度の詳細、手続きに関しましては厚生労働省ホームページ教育訓練給付制度のページをご確認ください。教育訓練給付制度を活用される場合、**開講 2 週間前まで**にハローワークにおいて手続きが必要となりますのでご注意ください。

12. 必要経費

他に交通費等が必要となります。

13. 履修免除

他の特定行為研修指定研修機関及びeラーニング（特定行為研修教材に限る）で履修した学習内容が、本研修の学習内容に相当するものと認められる場合、共通科目に限り履修免除となることがあります。ただし、履修内容がeラーニングの講義視聴のみの場合は、演習・実習・科目修了試験は免除されません。出願時に書類の提出が必要となりますので、出願前に問い合わせ先までご連絡ください。

応募要領

1. 出願資格

以下のすべてを満たしていること

- 1) 日本国内における看護師免許を有すること
- 2) 看護師免許取得後、通算3年以上の実務経験を有すること
- 3) 所属施設長の推薦を有すること
- 4) 看護職賠償責任保険に加入していること

2. 募集区分と定員

九州がんセンター外科系 5 区分基本パッケージ ※下記の5つの特定行為区分の全ての履修が必須

| 特定行為区分 | 定員 |
|-------------------|------|
| 腹腔ドレーン管理関連 | 5名まで |
| 創部ドレーン管理関連 | |
| 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 | |
| 感染に係る薬剤投与関連 | |
| 術後疼痛管理関連 | |

注：九州がんセンター職員のみが受講できる他のパッケージも含め、受験者が定員を超える場合は
選考試験合格者の中から成績が上位5名の者を合格とします

3. 出願期間 2025年3月3日（月）～2025年3月25日（火） 当日必着

4. 出願手続き

1) 出願書類

- (1) 受講申請書（様式1）
- (2) 履歴書（様式2）
- (3) 志願理由書（様式3）
- (4) 推薦書（様式4）
- (5) 履修免除申請書（様式5）
- (6) 看護師免許の写し（A4サイズに縮小）
- (7) 受験者の正面上半身写真 1枚（縦40mm×横30mm、裏面に氏名を記入：受験票用）
- (8) 長形2号の封筒 1枚 410円分の郵便切手貼り送付先（郵便番号、住所、氏名）を記載

2) 審査料 10,000円

- (1) 出願期間内に銀行振り込みで納入ください。
- (2) 「ご依頼人」の欄には、**受講希望者本人の氏名と氏名の頭に「特定行為」と記載**、ATMの場合は「ご依頼人」の**氏名の頭に「トクティコウイ」と入力**してください。
- (3) 振込手数料は、ご依頼人の負担となります。
- (4) 「振込金受取書」をもって領収書に代えますので、保管してください。

振込先：西日本シティ銀行 屋形原支店 普通 1263806
独立行政法人国立病院機構九州がんセンター 森田 勝

3) 出願書類の書き方

(1) 受講申請書(様式1)

- ①「年月日」は記載日を記入してください。
- ②「申請者氏名(ふりがな)」は、本人が署名し押印してください。

(2) 履歴書(様式2)

- ①年齢は、2025年4月1日現在で記入してください。
- ②電話番号は、いつでも連絡がとれる番号をいずれか1つは記入してください。
- ③一般学歴・専門学歴は、いずれも最終学歴を記入してください。
学歴は、高校卒業から現在までをすべて記入してください。欄が不足する場合は、別紙に記載し添付して一緒に提出してください。
- ④職歴は、正式な施設名と在職期間、及び勤務部署(診療科など)を記入してください。
- ⑤写真は3か月以内に撮影したもの(縦40mm×横30mm、裏面に氏名記載)を貼付してください。

(3) 志願理由書(様式3)

- ①「年月日」は記載日を「氏名」は本人氏名を記入してください。
- ②「志願理由」は、臨床看護の経験を含めて、具体的な出願理由を記載してください。

(4) 推薦書(様式4)

- ①「年月日」は作成日を記載してください。
- ②推薦者氏名には、施設長の氏名を記入し、施設長印を押印してください。
- ③「推薦理由」は、「受講希望者の看護実践能力、研修修了後の期待される役割等」を具体的に記載してください。
- ④推薦書は「厳封」にて準備してください。開封すると無効になります。

(5) 履修免除申請書(様式5)

- ①既修科目の履修免除を申請する場合のみ、提出してください。
- ②特定行為研修修了者が履修免除を申請する場合は、「特定行為研修修了証」のコピーを同封してください。
- ③eラーニング等で共通科目のみを履修した場合は受講証明又は視聴履歴を同封してください。

(6) 看護師免許の写し

- ①看護師免許(原本)をA4サイズに縮小コピーしたものを提出してください。

(7) 受験票用顔写真 1枚

- ①履歴書に使用した写真と同じものを準備し、裏に氏名を記入し同封してください。

(8) 長形2号の封筒(受験票送付用)

- ①長形2号の封筒に受講希望者の郵便番号、住所及び氏名を記入し、速達郵便額相当分(410円分)の郵便切手を貼ってください。封筒の送付先は、受講希望者に確実に届く住所を記入してください。

4) 出願方法

出願書類を一括して封筒に入れ、簡易書留での郵送又は持参してください。
封筒の表の左側に、「特定行為研修出願書類在中」と朱書きしてください。

5) 注意事項

- (1) 試験日の4日前になっても受験票が届かない場合は、下記へお問い合わせください。
独立行政法人国立病院機構九州がんセンター 特定行為研修担当 樋口マキ
電話(代表)092(541)3231
- (2) 一旦納入した審査料及び提出書類は、返還できません。

5. 選考方法

小論文、面接試験の結果及び出願書類を総合し、合否判定基準に基づき判定します。

6. 試験日 2025年4月7日(月)

7. 試験科目 小論文(800字程度)、面接試験

8. 試験会場及び時間割等

1) 試験会場

独立行政法人国立病院機構九州がんセンター 会議室1・2

2) 時間割

| 試験科目 | 試験時間 |
|----------------------|---------------|
| 受付 (15分) | 9:15 ~ 9:30 |
| オリエンテーション (15分) | 9:30 ~ 9:45 |
| 小論文 (60分) | 9:45 ~ 10:45 |
| 面接オリエンテーション・休憩 (15分) | 10:45 ~ 11:00 |
| 面接(原則、受験番号の早い順で計画) | 11:00 ~ 終了まで |

3) 試験に持参するもの

(1) 受験票

(2) 筆記用具(鉛筆又はシャープペンシル、および消しゴムを準備してください)

4) 試験時の注意点

(1) 試験中は携帯電話の電源を切って、カバンに入れてください。

(2) 試験中は、係員の指示に従ってください。

(3) 病院駐車場は、原則使用できません。公的交通機関で来院ください。

(4) 体調不良時は事前に特定行為研修担当者に連絡してください。

9. 合格発表・受講手続

1) 合格発表日 2025年4月28日(月)

(1) 病院ホームページに午前10時に合格者受験番号を掲示します。

(2) 同日、合否結果を本人及び推薦者の施設長宛に通知文書を発送します。

(3) 電話での合否の問い合わせには応じられません。

2) 受講手続

(1) 手続期間 2025年5月1日(木)~2025年5月23日(金)

(2) 受講に係る手続きについては、合否結果の通知文書に書面を同封し案内します。

10. その他

1) 提出された書類により得られた個人情報は、受講審査関連のために利用し、その他の目的には一切使用しません。

2) 九州がんセンターのホームページから、募集要項、出願書類がダウンロードできます。

3) 受講決定後、実習における医療安全のため、麻疹、風疹、水痘、ムンプス、B型肝炎の予防接種歴及び抗体価の結果等を確認させていただきます。

1 1. 試験に関する書類の送付先及び問い合わせ先

1) 送付先

〒811-1395

福岡県福岡市南区野多目3丁目1番1号

独立行政法人国立病院機構九州がんセンター 特定行為研修 受講審査係

2) 問い合わせ先

独立行政法人国立病院機構九州がんセンター 特定行為研修担当 樋口マキ

電話(代表): 092(541)3231 E-mail: higuchi.maki.hc@mail.hosp.go.jp

* 祝祭日を除く月～金曜日の9:00～17:00の間にご連絡ください。